

ID:											(nab-PTX+ キイトルーダ(400)) 療法				施行日	クール
患者氏名	殿										入院/外来	入力日	年	月	日	
年齢 性別											開始日	年	月	日		
疾患名											開始日	年	月	日		
クール	キイトルーダ:6週間毎 nab-PTX:3週投与1週休薬 1クール12週										診療科					
適応基準	<input checked="" type="checkbox"/> 1st Line <input type="checkbox"/> 2nd Line <input type="checkbox"/> 3rd Line以降 <input type="checkbox"/> 術前 <input type="checkbox"/> 術後補助 <input checked="" type="checkbox"/> 進行 <input checked="" type="checkbox"/> 再発										医師名					
身長		cm	体重		kg	体表面積	0.00	m ²	告知の有無		P S	同意書取得	<input checked="" type="checkbox"/> 済			

重要 B型肝炎の再活性化(de novo B型肝炎)対策として、右記の検査が未実施の場合は、**全例スクリーニング対象**となります。化学療法開始前or初回投与時に測定して下さい。
 ※詳細については、『化学療法により発生するB型肝炎対策～浦添総合病院バージョン～』をご参照下さい。

薬品名	単位	薬品名	単位	外来 化療 加算	<input checked="" type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> 対象外
nab-PTX 100 (アブラキサン)	<input checked="" type="checkbox"/> mg/m ² <input type="checkbox"/> mg/body	ヘムフロリスマブ 400	<input type="checkbox"/> mg/m ² <input checked="" type="checkbox"/> mg/body		

★ キイトルーダ+nab-PTX併用(Day1、43) ★

順番	医薬品名	投与量	投与部位	投与スケジュール	
A	レスタミンコウ錠 (10mg)	5錠	P.O	前投薬(注射)と同時に投与	
	デキサト注 (3.3mg)	6.6mg	D.I.V		
	ファモチジン注 (20mg)	20mg			15分
	生食液 (50mL)	50mL			
B	生理食塩液 (50mL)	50mL		D.I.V	10分
	ヘムフロリスマブ注 [キイトルーダ]	400 mg			
	生食液 (50mL)	50 mL	30分		
	生理食塩液 (50mL)	50mL	10分		
C	アブラキサン点滴静注用 (パクリタキセル:アルブミン懸濁型)	mg	D.I.V	30分	
	生食液 (100mL) ※	100mL			

※残った生食液を全て抜き取り(空の点滴バッグを作成)、必要量を混注

○ nab-PTX単剤(Day8、15、29、36、57、64、71) ○

順番	医薬品名	投与量	投与部位	投与スケジュール	
A	レスタミンコウ錠 (10mg)	5錠	P.O	前投薬(注射)と同時に投与	
	デキサト注 (3.3mg)	6.6mg	D.I.V		
	ファモチジン注 (20mg)	20mg			15分
	生食液 (50mL)	50mL			
C	アブラキサン点滴静注用 (パクリタキセル:アルブミン懸濁型)	mg		D.I.V	30分
	生食液 (100mL) ※	100mL			

※残った生食液を全て抜き取り(空の点滴バッグを作成)、必要量を混注

血漿分画製剤で、ロット番号の記録および保存が必要!

調製法に注意して下さい。 ※アブラキサン点滴静注用 調製法参照
 1バイアル当たり20mLの生食液を抜き取ります。
 残った生食液を全て抜き取り(空の点滴バッグを作成)、必要量を混注して下さい。

アブラキサンについて、インラインフィルターは不要ですので、使用しないで下さい。

薬剤師へ;キイトルーダ混注時は必ずフィルター付きプライミングセットを使用して下さい。

	1Kur目												2Kur目		確認者	監査者
	Day	1	8	15	22	29	36	43	50	57	64	71	78	85		
キイトルーダ	★	○	○		○	○	★		○	○	○		○	○		
nab-PTX	↓	↓	↓	x	↓	↓	↓	x	↓	↓	↓	x	↓	↓	↓	

注意事項など

- 【払出し～回収まで】
- Goが来たらアブラキサン注を棚から取り出し、管理簿へ記入+シール貼付する。 ※事前準備はしない
 - 注射箋薬剤部控えにロットシールを貼り、控えをコピーする。 ※控えコピーは「血液製剤(コピー)棚へ
 - 看護部側へは、注射箋・薬剤包装箱・ロットシールを払い出す。
 ※注射箋には「実施後、ロットシールを貼り薬局へ処方せんを戻して下さい」シールを貼付する。
 (混注業務は薬剤部のため、薬剤現物の搬送は発生しないため、包装箱にロットシールを貼付して払い出す)
 - 看護部側は投与後、注射箋にロットシールを貼付し、薬剤部へ速やかに返却する。
 - 薬剤部は、実施後の注射箋が戻ってきたら、ロットシールが貼付されていることを確認し、「血液製剤(戻り)棚」に入れる。